α 内用療法への期待

NucMed

日本医用アイソトープ株式会社
諸岡健雄

Summary

- Ac225の臨床応用にかかる期待は大きいが、日本における開発は世界に遅れをとっている

- Ac225医薬品の国内市場規模は、市販後数年以内に年100ないし200億円程度に達するものと推計される

- 世界及び日本における放射性医薬品市場の現状と見通し

- Ac225医薬品及び医薬品原料としてのAc225の市場規模の将来推計

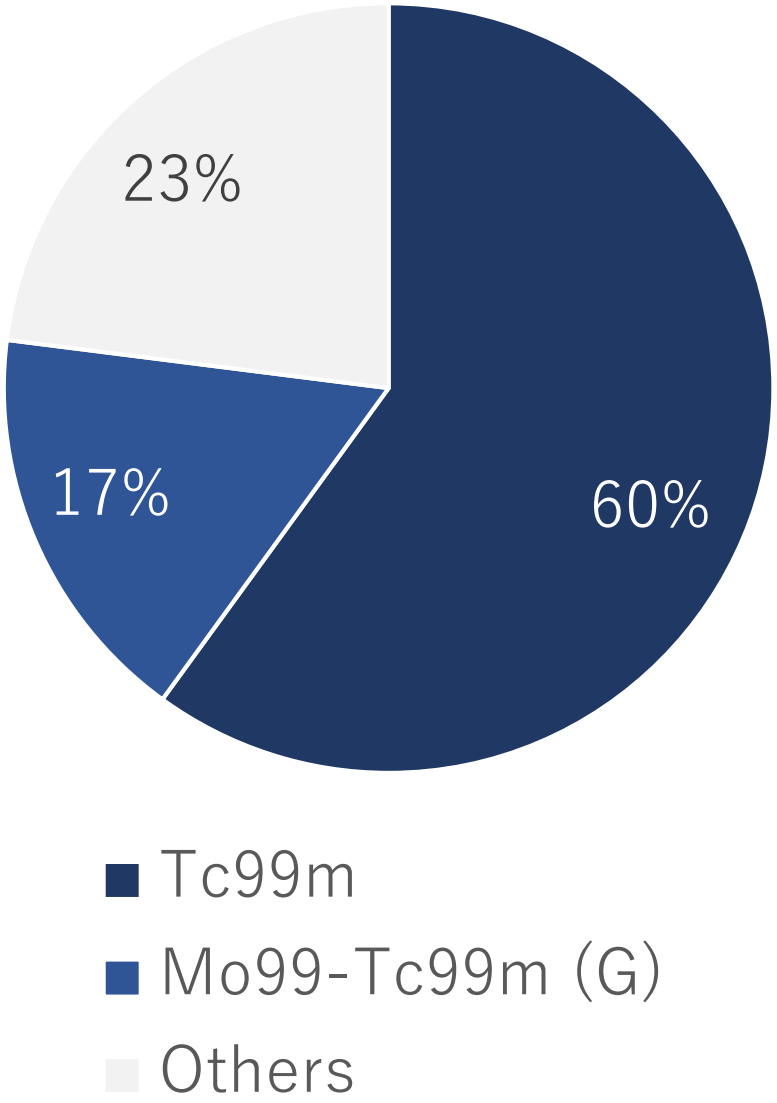
- 世界及び日本における放射性医薬品市場の現状と見通し

- Ac225医薬品及び医薬品原料としてのAc225の市場規模の将来推計

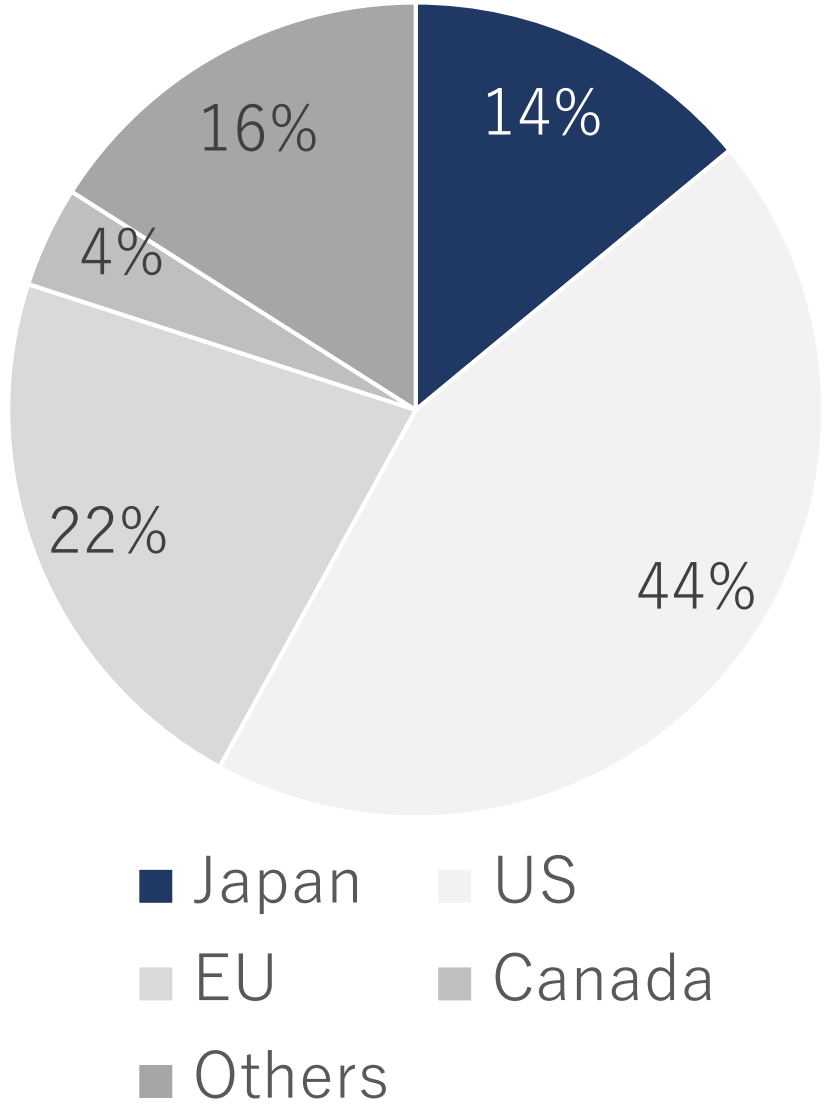
今後数年間における世界の放射性医薬品市場の成長要因

- Mo99需給の不一致の解消への取り組み
- 対象疾患の罹患率と有病率の増加
- α核種を用いた特異的がん治療の普及

Domestic Medical RI usage (volume base)



Global Tc99m usage (volume base)



Isotope distribution statistics 2018 ed.

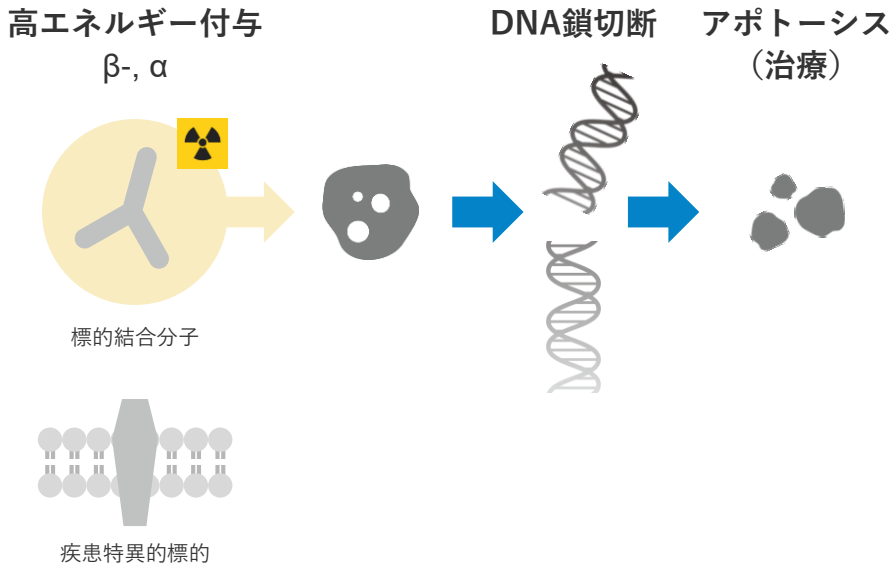
- 世界及び日本における放射性医薬品市場の現状と見通し

- Ac225医薬品及び医薬品原料としてのAc225の市場規模の将来推計

【Ac-225】RI内用療法への利用により高まる需要

NucMed

- 放射線治療には、放射線を身体の外から照射する方法と身体の内側から照射する方法がある。
- 放射性同位元素を治療目的で経口または静脈内投与して、がんの病巣部へ直接放射線を当てることによってがん細胞のDNAを特異的に叩くことができる
- α放出核種、特にAc-225について、その医用利用上の有用性が注目され、 Ac-225の需要は近年世界的に高まっている。
- 欧米各国における需要の増大に伴い、2020年以降、我が国への輸入が安定的に実施できる見込みは極めて低くなってきている。



RI	$T_{1/2}$	臨床利用（研究ベース）	供給
Ac-225	10d	メラノーマ（P.I） グリオーマ（P.I） 白血病（P.I / II） 前立腺 乳 卵巣 多発性骨髄腫 NET	

© 2020 NucMed.inc

- Ac225治療薬の開発には、創薬研究用のAc225が供給可能となった時点から少なくとも数年以上を要する。

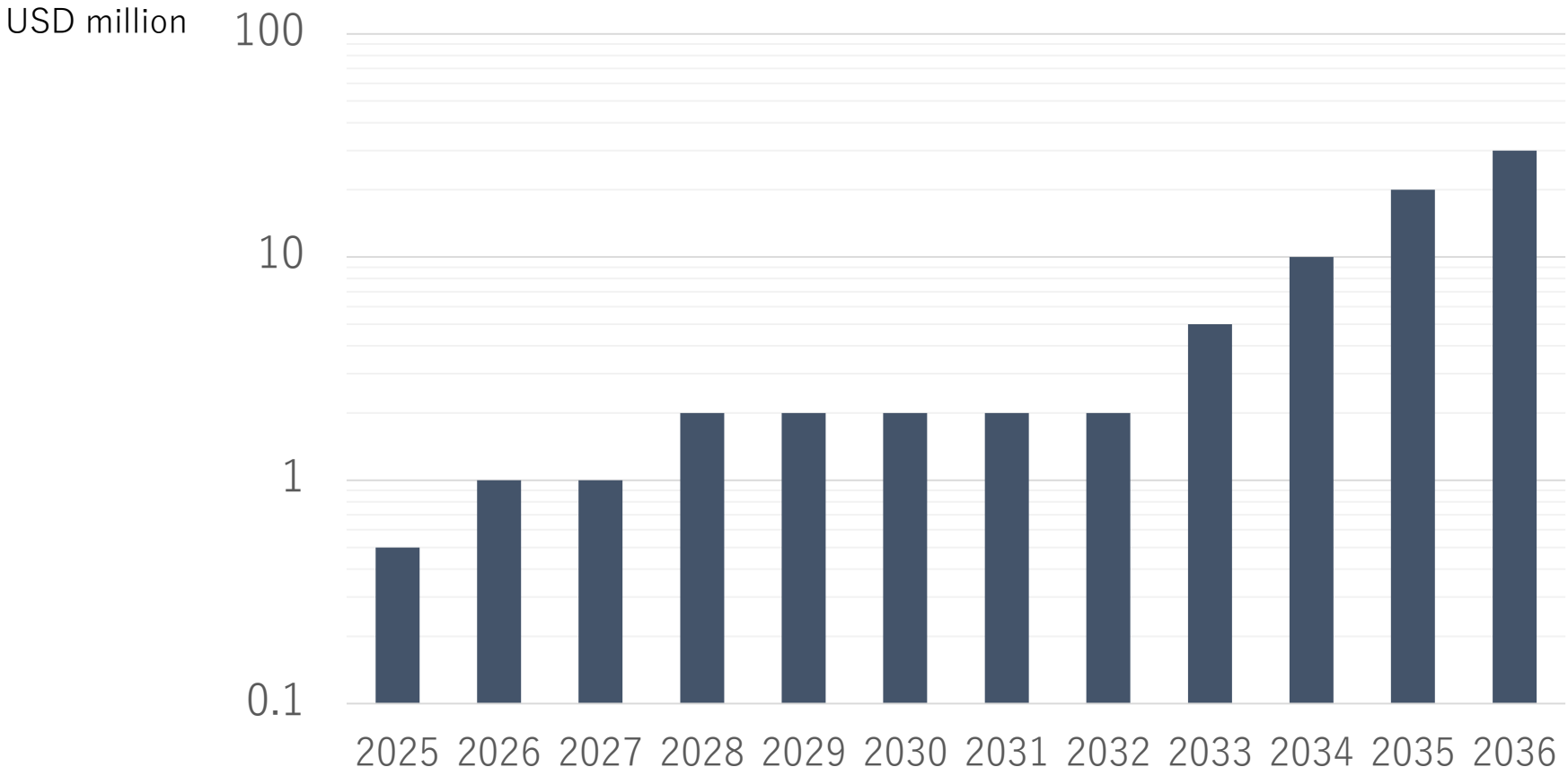
- 去勢抵抗性前立腺がんへの適応が取得できた場合のAc225医薬品の日本国内におけるピーク時の売り上げは、年間100ないし200億円程度を見込むことができる。世界ではその10倍。

- TNBC乳がんその他の疾患への適応拡大が得られれば、市場規模としては、前立腺がん単独の1.5倍程度を見込むことができる。

- 医薬品材料としてのAc225の価格は、医薬品価格の10-20％程度が目安か。

NucMedによる市場分析

Ac225としての国内市場予測



NucMedによる市場分析

NucMed